

兵庫県南部地震の実被害データに基づく建物被害評価に関する研究

目次

1	序論.....	1-1
1.1	研究の目的と位置付け.....	1-2
1.2	既往の研究の概要.....	1-5
1.3	論文の構成と内容.....	1-11
2	兵庫県南部地震における建物被害調査の比較検討.....	2-1
2.1	はじめに.....	2-2
2.2	兵庫県南部地震後の建物被害調査の概要と問題点.....	2-4
2.3	建物被害調査の比較.....	2-7
2.4	建物被害判定の比較.....	2-12
2.5	自治体による建物被害調査と建築コストとの比較.....	2-17
2.6	建物被害調査票の提案.....	2-20
2.7	まとめ.....	2-23
3	調査法が異なる場合の建物被害評価変換法.....	3-1
3.1	はじめに.....	3-2
3.2	芦屋市における建物被害判定結果の比較.....	3-3
3.3	建物被害判定ごとの被害率曲線の比較と評価変換法.....	3-10
3.4	まとめ.....	3-19
4	灘区における建物被害のマクロ分析.....	4-1
4.1	はじめに.....	4-2
4.2	灘区の概要.....	4-3
4.3	灘区の建物被害データ.....	4-5
4.4	建物被害のマクロ分析.....	4-8
4.5	GISを用いた建物被害分析.....	4-17
4.6	まとめ.....	4-23
5	兵庫県南部地震における灘区の地震動分布の推定.....	5-1
5.1	はじめに.....	5-2
5.2	建築研究所データを用いた地震動分布推定の概要.....	5-4
5.3	自治体の建物被害調査に基づく灘区の建物被害関数.....	5-8
5.4	灘区における地震動分布の再推定.....	5-16
5.5	まとめ.....	5-22

6	構造別・建築年代別を考慮した建物被害関数	6-1
6.1	はじめに	6-2
6.2	自治体の建物被害調査に基づく灘区の建物被害関数	6-5
6.3	建物被害関数による推定値と実被害との比較	6-14
6.4	まとめ	6-18
7	実被害データに基づく建物倒壊危険度評価法の提案	7-1
7.1	はじめに	7-2
7.2	東京都の建物倒壊危険度	7-3
7.3	東京都の方法による灘区の建物倒壊危険度と実被害との比較	7-6
7.4	実被害データに基づく新建物倒壊危険度評価法の提案	7-15
7.5	汎用ウェイトの設定手法	7-19
7.6	新危険度評価法による東京都の建物倒壊危険度	7-26
7.7	まとめ	7-29
8	防災環境都市デザインのビジョン	8-1
8.1	はじめに	8-2
8.2	都市のイメージ	8-4
8.3	生態的都市論	8-7
8.4	防災環境都市デザイン手法 MUSE の提案	8-14
8.5	防災環境都市デザイン手法 MUSE のイメージ	8-19
8.6	まとめ	8-36
9	結論	9-1
	参考文献	10-1
	付録 1：建物被害調査票	10-5
	付録 2：灘区の町丁目データ	10-19
	英語論文	
	Vulnerability Functions for Japanese Buildings based on Damage Data due to the 1995 Kobe Earthquake	10-27
	Risk Evaluation Method of Building Collapse from the Experience of the Kobe Earthquake	10-39
	Use of GIS for the Method of Urban Safety Analysis and Environmental design	10-47
	謝辞	10-53